

JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業の「案件化調査」採択

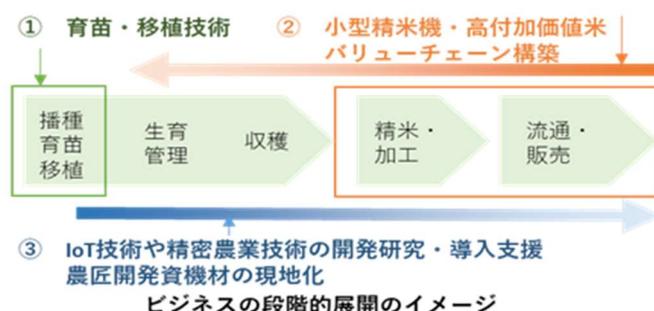
農匠ナビ株式会社 -コロンビアでコメの育苗生産技術移転と 高付加価値化を目指す-

この度、国際協力機構（JICA）は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」（2020年度第1回公示）において、農匠ナビ株式会社（滋賀県・茨城県、横田修一 代表取締役社長）が提案する「コメの育苗生産技術移転と高付加価値バリューチェーン構築にかかる案件化調査」（コロンビア国）を採択しました。

コロンビアでは2016年に反政府ゲリラとの和平交渉が妥結し、政府は「平和の鍵は農業にある」として、農業を貧困格差是正や経済成長のために重要な産業と位置付けています。コメはコーヒーに次ぐ第二の主要作物ですが、コメ生産費が近隣諸国と比較して高く、生産コスト削減と高付加価値化が喫緊の課題になっています。また、近年各国で問題となっている雑草性イネ（赤米）の発生が深刻化する傾向にあり、赤米対策としても有効な日本式移植方法・技術に対する関心が高まっています。

農匠ナビ（株）は「農業者による農業者のための農業技術開発」をビジョンとして、対象地域・環境条件・経営課題に応じ、高密度育苗・移植技術やIoT¹自動水門、水田IoTセンサー、GPS搭載コンバイン等を組み合わせた「稲作経営技術パッケージ」の研究開発を行い、農業技術デジタルコンテンツやコンサルティングを通じた地域農家への普及を図っています。

本事業は、コロンビアの稲作地帯に最適で、低コスト高付加価値化を実現する栽培技術（育苗・移植技術、水管理技術、施肥技術、IoT、小型精米機等）を提供することを目的としています。これら栽培技術の有効性や普及可能性、高付加価値米の市場性等に関する調査を通じてビジネスモデルの検討を行い、コロンビアの稲作におけるコスト削減と高付加価値米バリューチェーン構築へ貢献することを目指します。



※本案件は、12月初旬頃に農匠ナビ（茨城県 龍ヶ崎市）の農場で、報道機関を対象としたプレスツアーの実施を予定しています。当日、案件に関する御質問などを承りますので、奮って御参加下さい。

¹ IoT: Internet of Things の略。モノのインターネット。

申込の詳細は、下記の担当者にお問い合わせ下さい。

参考：（プレスリリース）2020年度第一回「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」：62件の採択を決定

https://www.jica.go.jp/press/2020/20200924_10.html

<p>【本件に関する問い合わせ先】</p>	<p>茨城県、栃木県も元気にする国際協力</p>
<p>JICA 筑波 連携推進課（担当：村上、遠藤） TEL:029-838-1117 FAX:029-838-1776 e-mail : tbictpp@jica.go.jp</p>	<p>JICA 筑波ホームページ https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html</p>